

1. 今回の研修における目的やねらい

今回の研修先であるタンザニアは、開発途上国の多いアフリカの中でも貧困率35%以上の最貧国のひとつであり、欧米諸国と違い、日本のマスメディアにもほとんど取り上げられることがない。タンザニアの人々と触れあい、生活することで、自分自身が開発途上国の現状を知り、異文化を理解して、自己の視野を広げ、コミュニケーション力や問題解決能力を高め、人間としての幅を広げ、それを学校での日々の教育活動に反映させ、子どもたちの育成をすすめていきたい。

2. 目的やねらいがどのくらい達成されたか

研修前にタンザニアについて調べていくなかで、地域によってかなり貧困の格差、教育の格差があることが分かった。実際にタンザニアに行ってみるとインフラや社会保障の未整備、学校教育のレベルの低さ等を目の当たりにしタンザニアの現状を垣間見ることができた。多くの日本人がタンザニアのために働いていることも知れてよかった。

3. タンザニアから学んだこと

本研修においてJICAが行っている開発途上国への支援活動を視察し、タンザニアの貧困削減に向けた経済成長支援や、インフラ開発、社会・教育行政への支援の実際を知り、理解を深める事が出来た。さらにタンザニアの人々と直に触れあい、生活することで、自己の視野を広げ、異文化を理解する態度やコミュニケーション力を高めていくことが出来た。

4. 今回の研修経験をどのように教育活動に活用しようと思っているか

勤務校のみならず、山梨県の国際理解教育を推進する中心教員として子どもたちや先生方に貢献したい。国際社会における日本の役割などについての考えを醸成し、LHR、総合的な学習の時間や生徒会活動におけるボランティア活動推進のための指導や、国際理解教育や開発教育の意義や方法についての教員対象の研修会の講師などとしても貢献していきたい。

5. 今回の研修に参加してよかったことや、よりよくするための提案

個人旅行では行けない学校現場や農村体験、TANESCO、ローアモン灌漑農業の様子が見れたこと。学校教育では、小学校、中・高等学校、特別支援クラスを視察でき、教育について知ることができた。また、タンザニアでタンザニアを良くしようとしている日本人が、非常に頑張っているということを知れてよかった。

6. 海外研修での役割（各担当や日直）を振り返っての感想・提案など

各担当が現地の協力隊や専門家の方と密に連絡を取り合っ、事前に情報共有をしてくれおかげで事前の準備や研修中の時間を有効に使うことができた。また、担当者の臨機応変な行動で訪問先でもトラブルがなく過ごせた。

どの係りも協力しあっており、ことがスムーズに運んだ。

7. その他、研修全般を通じての感想・意見など

途上国について考えたとき、支援や援助を考えてしまいがちである。しかし、一方的に何かをしてあげるのではなく、その国の人たちが、誇りを持って生きていけるように、そして先進国の人たちにとってもお互いに Win-win の関係でなければならないと感じた。そのために、その国の社会システムを変えるのではなく、もともとある社会システムを活かしながら経済システムを確立すべきであると感じた。

8. 今後の本研修参加者へのアドバイスなど

今年度のチームは非常に穏やかで、和気あいあいとしていた。よく食べ、睡眠時間をしっかりと心がけ、協力していくことにより、何倍も楽しむことができると思う。

9. 各訪問先等の所感

日 時	テーマ	所 感
8月10日(月)	日本からタンザニアまでの移動中および現地到着	初めてのアフリカ大陸。南米よりは物理的には近いが、心理的には遠い国だった。 ワクワクドキドキしている。
8月10日(月)	JICA タンザニア事務所表敬研修ブリーフィング	安全対策について、話を聞いて、想像以上に危険があるなど感じた。食事の懇談会では、情操教育がないということ、ロールモデルがないので、勉強する意味がわからない生徒もいる。貧困層は貧困層のままであるという話が聞けて良かった。教育の大切さを感じた。
8月10日(月)	JICA 所員との懇親会	おしゃれなレストランでのお食事会でした。タンザニアのビール美味しかった。J i c a さんの話も有意義でした。
8月10日(月)	本日のふりかえり	長時間のフライトでみんな疲れているが、アフリカが想像していた環境と違うことに私も含め他の先生方も驚いていることがわかった。
8月11日(火)	JICA タンザニア事務所研修ブリーフィング	色々な分野の講習を受けた。 印象に残ったことは、灌漑農業が始まって40年経

		<p>った今でも生産性が低いということに驚いた。人の意識改革には、とてつもない時間がかかるんだということがわかった。</p> <p>ナシムサンと話をしていてわかったことだが、国からの奨学金が支給される学部と支給されない学部があることがわかった。国が力を入れたいものがみえてくる。</p>
8月11日(火)	本日のふりかえり	<p>皆さんが、今日は元気で良かったです。学んだことをみんなでシェアできて良かった。まだ、授業のイメージができていない。明日からは、現場なので楽しみである。</p>
8月12日(水)	キリマンジャロへ移動	<p>朝早くの出発だった。朝早すぎてテンションが、みんな高めだった。移動はプロペラ機でしたが、揺れも少なく良かった。</p> <p>モシの空港はダルエスサラームの空港と違い植物が多く生えていた。木に止まっている鳥も色が濃く綺麗だった。</p>
8月12日(水)	キリング中等学校 赤木隊員活動視察	<p>最初に校内を案内していただいたが、平屋の建物がこの字型に並んでいた。グラウンドも平らであったが、バレーボールのネットなどが無い状態でバレーをしている。また、ボールも学校には2個しかないということだった。数学の授業を参観させていただいたが、緯度と経度を使ってこの長さをもとめさせており、何故これを題材にしたのか疑問に感じた。幸せワークでは、日本の子供達と違う結果になり、タンザニアの子供たちの方が勉強できる喜びを実感しているのだなと感じた。日本の子供達は勉強するのは当たり前、させられていると感じているのかもしれない。</p>
8月12日(水)	モシへ移動	<p>途中で市場によりカンガを買えて良かった。教材で使えるかな。道中は疲れて寝てしまった。</p>
8月12日(水)	隊員との懇談会	<p>江波隊員と話ができ、隊員になった過程を話していただいた。タンザニアで教えることは先生が見ていればちゃんとやるけど、見ていないとやらない。と聞き驚いた。</p>
8月12日(水)	本日のふりかえり	<p>数学のレベルの低さ、ソーラン節のやり始めついて話し合いをした。</p> <p>参加型のソーラン節のほうが子供達が楽しめる</p>

		思った。
8月13日(木)	カラंगा小学校 植松隊員活動視察	子供たちがとても無邪気で人懐っこかった。高校では味わえないふれあいがあった。ソーラン節も昨日の反省を生かせてよかった。
8月13日(木)	警察学校 江波戸隊員活動視察	柔道場の畳のひどさに驚くと同時になんとかしてあげたいと真剣に思った。
8月13日(木)	本日のふりかえり	物がないことは悪いことなのか？という意見が出た。決して悪いことではないと思う。 物がない分工夫する知恵がつく。
8月14日(木)	タンライスプロジェクト 視察	午前中は概要説明であったが、1日目の講義より、詳しく話しが聞けた。ジェンダーについては、日本の古風な風習と似ていると思った。日本が男性も家事をするようになるのに時間がかかったように、タンザニアも時間がかかるのではと感じた。jicaプロジェクトについては、実際に見るのでは、事業の壮大さが違う。異国の人に農業を教える大変さがうかがわれた。 「アフリカ人と同じ食生活をして、同じ生活をしてみると、日本人は一ヶ月も持たないで病気になってしまう。アフリカ人はアフリカ人なりに精一杯頑張っているんだ」という話をきいて考えさせられるものがあった。
8月14日(木)	専門家との懇親会	大泉さん一家と会食ができ、モシにはインターナショナルスクールがあり、物資も足りているという話が聞けてよかった。家族で外国に住むということは仕事だけでなく、教育の面も考慮しなければならぬと改めて感じた。
8月14日(木)	本日のふりかえり	明日の農村視察の際のインタビュー項目について確認をした。
8月15日(木)	タンライスプロジェクト 農村視察	元兵士の家庭を訪問させていただいた。お父さんはとても朗らかな人だった。息子達は他の都市に働きにでており、息子のお嫁さんたちと大勢の孫たちと暮らしている。日本では核家族化になってから久しいが、多くの人で子供を育てることにより、母親が育児ノイローゼになりにくかったり、子供も安定して成長することができると感じた。

8月15日(木)	市内視察	多くの隊員の方が市場を案内するために、休日返上で集まってくれありがたかった。 市場自体は、ごちゃごちゃしていたが、臭いも特に気になるようなことがなかった。智代さんのことを知っているようで、市場のおばちゃんたちと写真が撮れてよかった。
8月15日(木)	本日のふりかえり	警察学校に夕食を招待していただいた。校長先生には、お会いできなかったが、たのしいひとときをすごせてよかった。ふりかえりでは、実際に生活の一部を体験出来良かったという意見が多かった。
8月16日(金)	ダルエスサラームへ移動	キリマンジェロを今朝も見れてよかった。ザンジバル島経由で、ダルに戻ってきた。 ダルは暑い。
8月16日(日)	専門家との懇親会	タンザニアの学歴社会と出身家系で仕事や役職が決まることが分かった。
8月16日(日)	本日のふりかえり	昨日の農村体験についての経験を共有した。 授業についての話し合いを小学校チームと高校チームに分かれて行った。
8月17日(月)	タンザニア電力供給公社(TANESCO)プロジェクトサイト視察	電力会社の概要説明や電気についての講義を受け、その後現場を見学した。日本の会社の機械が導入されていた。
8月17日(月)	市内視察・教材購入	ティンガティンガ村に行きタンザニアの伝統文化に触れることができた。多くの職人がいたが女性はいなかった。タンザニアの太陽の下で見るティンガティンガはとても鮮やかで、綺麗だった。
8月17日(月)	本日の振り返り	本日は学校視察ではなく、社会科見学であった。多くの人が日本企業が活躍していることについての感想を述べた。明日の小学校についての確認を行った。
8月18日(火)	ムランディジ小学校三隅隊員活動視察	特別支援の学級では、日本に比べて軽度の子供達ばかりであった。重度の子供は親が外に出したがいけないときいて、全国民に教育を、せめて読み書きだけでも、意思を伝える手段だけでも、習得して欲しいと思った。14歳の聴覚障害の女の子は字

		が読めなかった。字を教えてもらえるのか心配である。
8月18日(火)	市内視察・教材購入	スーパーマーケットでは、買い物が終わったあと、出口でレシートと商品の照らし合わせがあり、危機管理がしっかりしていた。
8月18日(火)	JICA 所員との懇親会	タンザニアでの最後の晩餐でした。ウーロン茶を注文したら、砂糖入りのウーロン茶が出てきてびっくり最後まで文化の違いがあった。今までお世話になった人に研修で学んだことを一人一人発表した。
8月18日(火)	本日のふりかえり	この研修を漢字一文字で表した。いっちーさんが提案してくれたゲームをみんなでやり、最後の夜を楽しんだ。
8月19日(水)	JICA タンザニア事務所 報告会および記者発表会	プレス数社の前で報告会を行った。10 日前にタンザニアに来たことが懐かしく感じた。ナシブとのお別れも寂しかった。
8月19日(水)	在タンザニア日本大使館 表敬訪問	大使から、草の根無償の話が聞けた。初等、中等教育を充実していかないと発展していかない。食料自給率は高いが、加工技術がない、自分の国のものづくりをできるようにすれば良いという話が印象的だった。
8月19日(水) -20日(木)	タンザニアから日本までの 移動中および日本到着	早めにダルエスサラームの空港に着いたが非常に混んでいて、搭乗時間まで慌ただしかった。キリンも無事に日本に連れてくることができよかった。